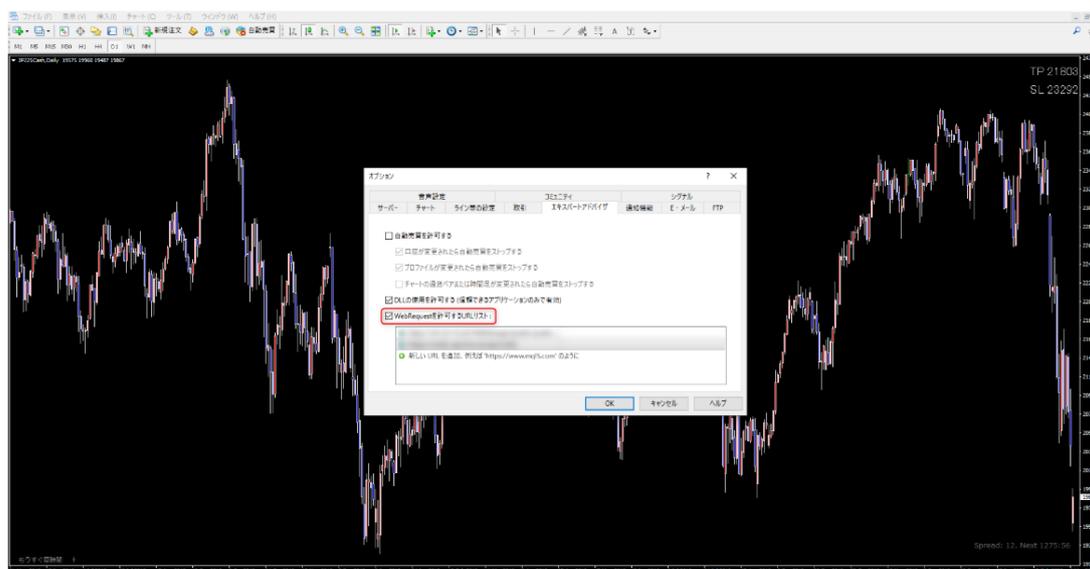
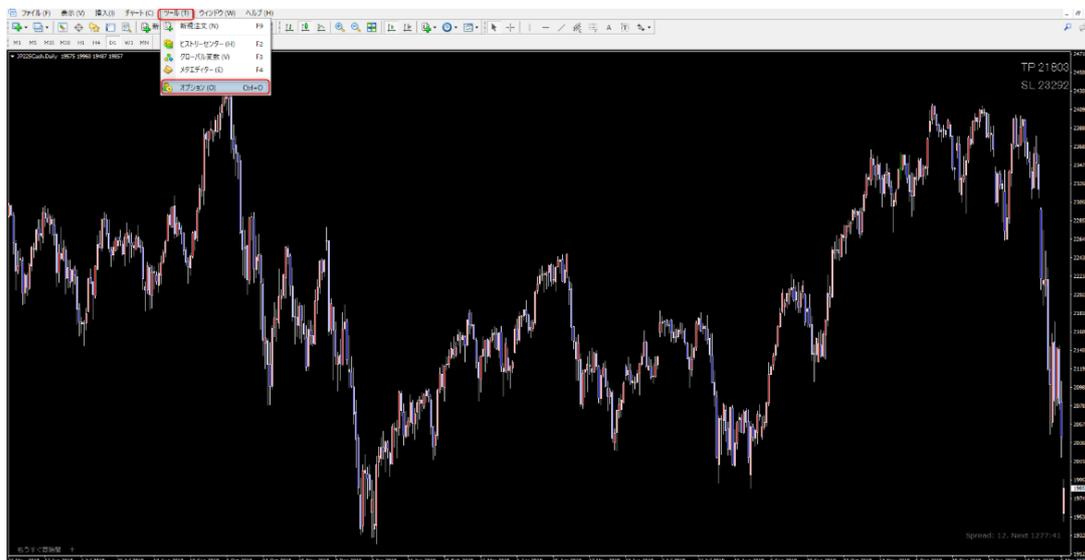


ウェブ認証要領

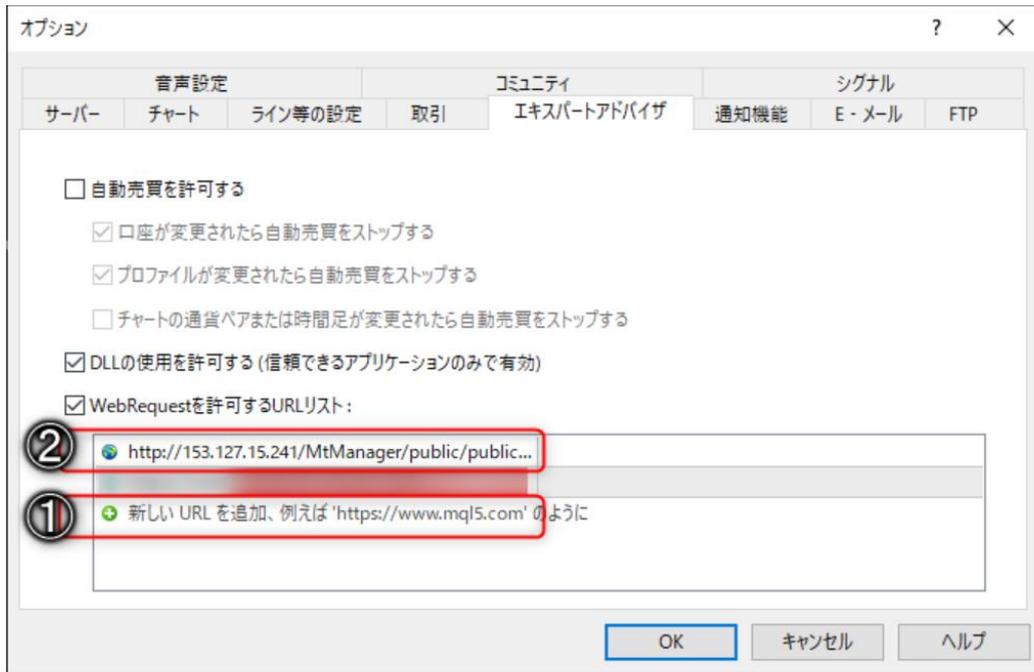
- 1 ツール>オプション>エキスパートアドバイザーのタブにありますWebRequestを許可するにチェックをつけます。



- 2 ①新しいURLを追加～の左側にある「+」を押下し、②のところに以下のURLを登録します。

<http://153.127.15.241/MtManager/public/public/api/check>

- 4 起動後、1分ごとに認証チェックが行われます。



3 認証サイトで口座番号が登録されれば、相場の原理原則インジケーターが起動します。

4 起動後、1分ごとに認証チェックが行われます。

※もし、認識されない場合は、kinchanbbh3@yahoo.co.jp までメールを下さい。

MT4 に相場の原理原則 EA を認識させる方法

1 MT4 を立ち上げる

2 ファイル>データフォルダを開く>MQL 4

フォルダを開き、中にあるファイルをフォルダ名と同じ場所に入れます。

(1) 相場の原理原則 EA3.01 ⇒ Experts

(2) diarylib.mqh ⇒ Include

(3) tradediary.ex4 ⇒ Libraries

3 MT4 を再起動する

各種UI取扱説明



1 マニュアルエントリーボタン

- ① . . . 押下した瞬間に成り行きでショート(売り)を仕掛けます。
- ② . . . 押下した瞬間に成り行きでロング(買い)を仕掛けます。



2 ロジック及びロット

- ③ . . . ロットを決めます。1 ロット=10 万通貨単位
- ④ . . . 「ELLIOT WAVE」ボタン。エリオット波動の波動と目標値を出します。
- ⑤ . . . 「CHART PATTERN」ボタン。チャートパターンの目標値を出します。



2 仕掛ける方法ボタン

このUIで描画したライン若しくはトレンドラインにより、以下のように作動

- ⑥ . . . ライン若しくはトレンドラインタッチ後、逆指値で順方向に仕掛けます。
- ⑦ . . . ライン若しくはトレンドラインを終値抜け後、次の始値で仕掛けます。
- ⑧ . . . ライン若しくはトレンドラインタッチ後、逆張りで逆方向に仕掛けます。



3 手仕舞い (手動) ボタン

このUIで描画したライン若しくはトレンドラインにより、以下のように作動

- ⑨-1 パラメータ設定「ラインタッチ」
ライン若しくはトレンドラインにタッチした瞬間に手仕舞いをします。
- ⑨-2 パラメータ設定「終値ブレイク」
ライン若しくはトレンドラインを終値ブレイク後、次の始値で手仕舞います。

- ⑩ . . . 押下後、※10SMA にストップ(逆指値)が移動します。
※期間についてはパラメータ設定で変更可
- ⑪ . . . 押下後、一括決済をします。



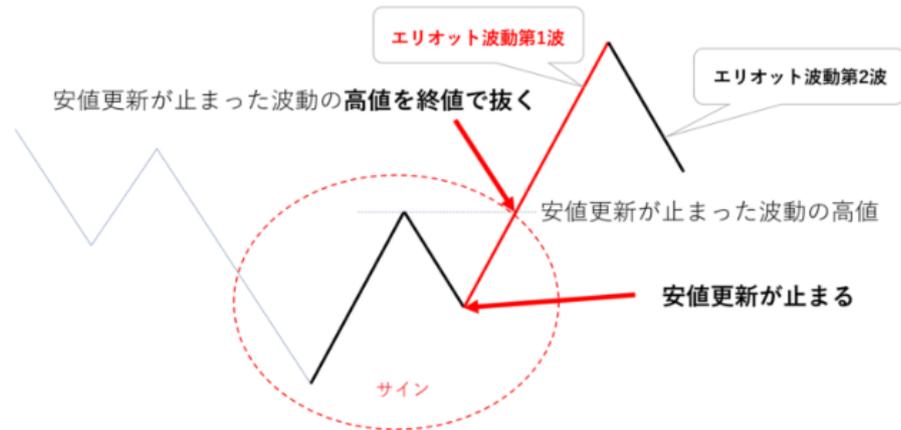
4 ライン消去及びインジケータ

- ⑫ . . . UIで描画したラインやトレンドラインを全て消去します。
- ⑬ . . . 表示されているチャートの上位時間軸のテクニカル指標の状況
赤色⇒買いサイン、青色⇒売りサイン

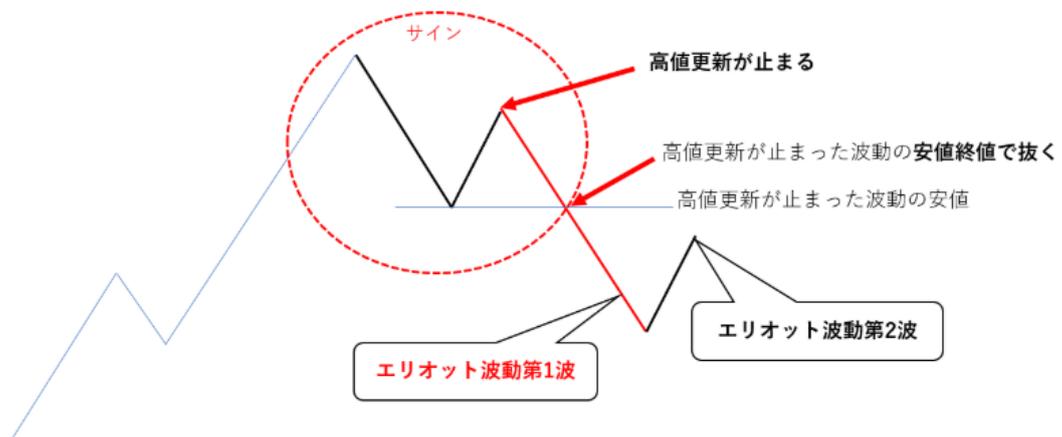
エリオット波動第1波の捉え方

エリオット波動第1波を検知する基本的な形です。

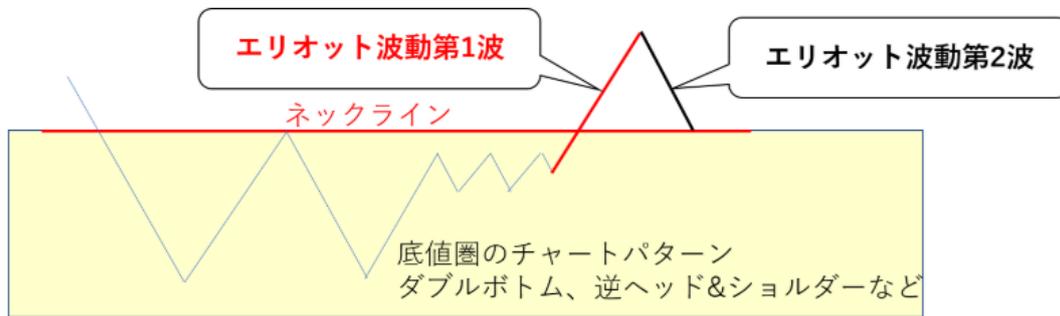
・上昇トレンドの場合



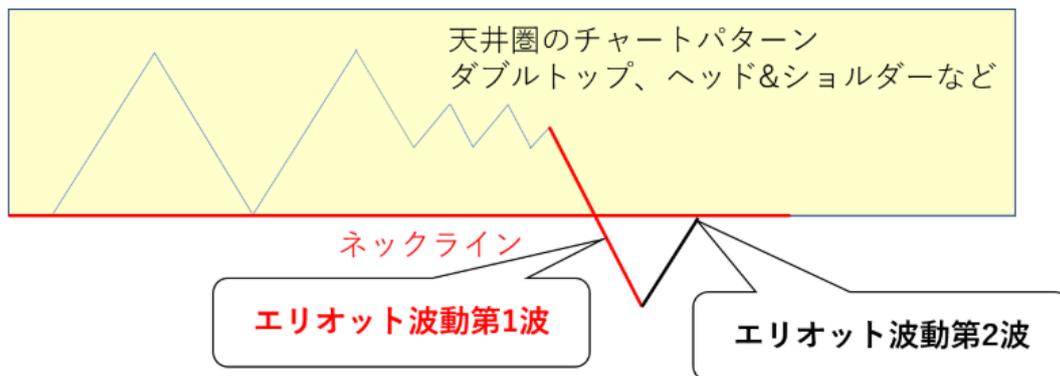
・下降トレンドの場合



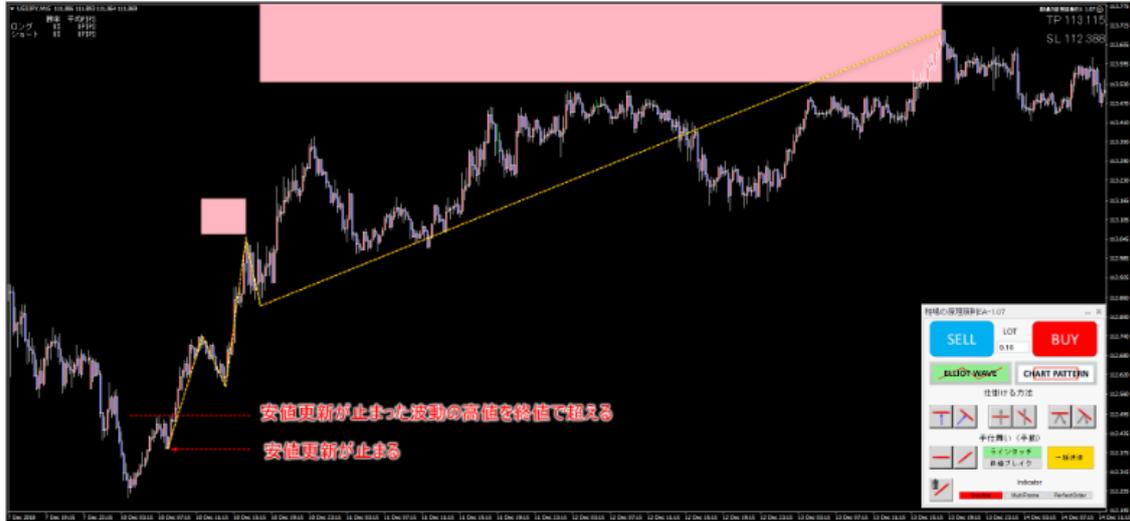
・底値圏のチャートパターン



・天井圏のチャートパターン



上昇トレンドの場合



下降トレンドの場合



レンジブレイク系

分からなくなった場合は、**ダブルボトム**や**ダブルトップ**、**ヘッド&ショルダー**などの底値圏や天井圏で出やすいチャートパターンが完成した波動か、チャンネルラインをブレイクしてきた波動に注目します。

また、エリオット波動の第5波到達後については、調整波終了後のチャンネルラインブレイクを狙います。

上昇トレンドの場合

<チャートパターンのブレイク>



<チャンネルラインのブレイク>



下降トレンドの場合

<チャートパターンのブレイク>



<チャネルラインのブレイク>



フラッグの形と相場の原理原則インジケーターの合わせ方

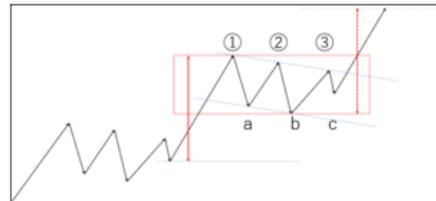
フラッグの形は上昇時は上値と下値が切り下がり、下降時は上値と下値が切り上がる特徴があります。そのため、**基本的には上に2回、下に2回の反転ポイントが出た時点で口の範囲が確定**するイメージです。

上昇時のフラッグ

右の画像は上昇時の局面ですが、この場合は、

①・・・フラッグを形成するローソク足の実体の中で最大値になる。

b・・・フラッグを形成するローソク足の実体の中で、必ず最小値になるわけではないが、最小値となる可能性が高い。



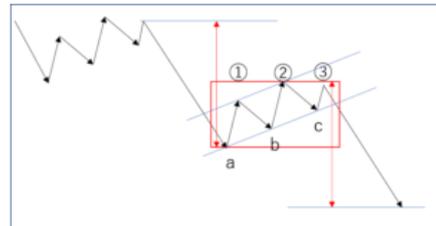
つまり、**bの時点**でチャートパターンができている部分を囲えば、目標値をアウトプットできるということになります。

下降時のフラッグ

続いて、下降時の局面の場合は、

a・・・フラッグを形成するローソク足の実体の中で最小値になる。

②・・・フラッグを形成するローソク足の実体の中で、必ず最大値になるわけではないが、最大値となる可能性が高い。



つまり、**②の時点**でチャートパターンができている部分を囲えば、目標値をアウトプットできるということになります。

ペナントの形と相場の原理原則インジケータの合わせ方

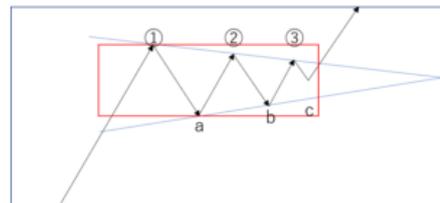
ペナントの形は、上値が切り下がり下値が切り上がる中立パターン、上値が変わらず下値が切り上がる強気パターン、上値が切り下がり下値が変わらない弱気パターンの3種類ありますが、基本的には中立パターンと同じになります。

上昇時のペナント

上昇時の局面の場合は、

①・・・ペナントを形成するローソク足の実体の中で最大値になる。

b・・・ペナントを形成するローソク足の実体が左側の a より高い位置にあり、ペナントが確定する。



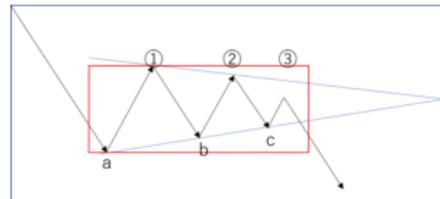
つまり、**bの時点**でチャートパターンができている部分を囲えば、目標値をアウトプットできるということになります。

下降時のペナント

下降時の局面の場合は、

a・・・ペナントを形成するローソク足の実体の中で最小値になる。

②・・・ペナントを形成するローソク足の実体が左側の①より低い位置にあり、ペナントが確定する。



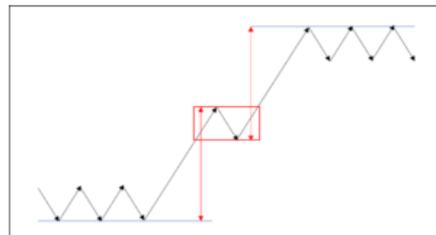
小さい揉み合いと相場の原理原則インジケータの合わせ方

小さい揉み合いの形は、上昇時も下降時も同じです。

上昇時の小さい揉み合い

上昇時の小さい揉み合いは、形はフラッグと同様、トレンド方向と逆の傾きを持つ場合が多いです。

また、揉み合っている値幅も小さい場合が多く、時間的にも非常に短いケースが多いため、察知してブレイクを狙うのが非常に難しい特徴があります。

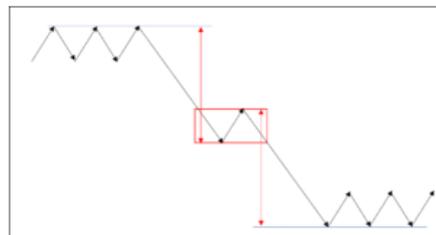


まれに比較的長い期間、小さい値幅で揉み合いになることがあります。

下降時の小さい揉み合い

下降時の小さい揉み合いは、形はフラッグと同様、トレンド方向と逆の傾きを持つ場合が多いです。

また、揉み合っている値幅も小さい場合が多く、時間的にも非常に短いケースが多いため、察知してブレイクを狙うのが非常に難しい特徴があります。



まれに比較的長い期間、小さい値幅で揉み合いになることがあります。

共通的な事項

- 1 基本的には、このインジケーターがアウトプットしたポイントまで届かない場合、【騙し】と市場が判定し、ロングの場合は赤枠の一番下、ショートの場合は赤枠の一番上まで戻してくる可能性が高くなります。
- 2 そのため、チャートパターンのロスカットは、右上のS Lで表示された数字の終値抜けにしています。利益を多く取っていくために、上昇トレンドの場合は、赤い四角枠の一番下に近いところ、下降トレンドの場合は、赤い四角枠の一番上に近いところまで引きつけると、リスク・リワードが良くなります。
- 3 このインジケーターは、チャートパターン近くの揉み合っているポイントに反応する設計になっています。そのため、チャートパターンが形成されているポイントとあまりに近いところに揉み合っているポイントが存在すると、そこを目標値と算出することがあります。その場合、その近い揉み合っているポイントもチャートパターンに組み入れて下さい。